



総務分科会

質 議員報酬の月額32万9千円は、住民団体からの異議申し立てが予想され、報酬額を下げる考えはないか。

答 報酬審議会で慎重に審査され出された答申なので、市としては真摯に受け止め提案している。意見 類似の市に比べても高い金額ではなく、議員数も26人に減少し、しかも活動範囲が広範囲になるので、市民に説明すれば納得いただけると思う。

質 臨時職員の見直しは行なったのか。

答 賃金は、前年度比で約6200万円減額し、数としては約20人の減少である。

質 ケーブルテレビを有料化する考えはないのか。

答 行政改革の中で、有料化に向けて取り組みを進めている。

企画財政分科会

質 行政改革をどの程度反映させているのか。

答 旅費、報酬、給与、手当、委託料などで約3億7千万円の削減効果を考えている。

質 国の税制改正により、住民負担が約3億9千万円増えるが、負担増を緩和する政策は検討しているのか。

答 現在の財政状況では、市独自で負担増加分を緩和することは非常に厳しい。しかし、子育て支援策については支援の拡充を行なっている。

民生分科会

質 行政改革で、保育所の統廃合、民間への移行はどのようになっているのか。

答 19年度は、検討することとなっている。

質 産廃場のカマタの状況はどうなっているのか。

答 県が調査し、12月に3万8千m³の容量超過が判明し、撤去命令と使用停止命令が出されている。最終的には覆土し安定させると聞いている。

文教分科会

質 給食費の収納率が下がってきているが、対策をどうするのか。

答 □座振替、徴収員の配置も含め検討していく。

質 稲築にある給食センターの近隣地域だけでも統廃合する考えはないか。

答 センター方式なら人件費など経費も削減できると思うが、現在、食育の重要性が取り上げられていることから、時間をかけて慎重に検討したい。

産業経済分科会

質 農業委員会の報酬月額を。

答 会長が4万1千円、副会長が3万8千円、委員が2万6千円である。

質 中山間地域直接支払交付金(国の補助金)の対象農家の推移はどのようになっているのか。

答 減少傾向にある。

平成19年度(4月～3月)の予算については、全議員による予算特別委員会を設置し、審査を行いました。(予算額などの詳細は前ページ)
 審査は、各委員会に該当する予算についてを分科会方式で行い、最終的には各分科会からの審査報告を受け、全議員で質疑、採決を行いました。
 採決の結果、19年度予算については、賛成多数で可決しました。
 各分科会における主な質疑は、次のとおりです。

建設分科会

質 特定開発就労事業の廃止で、暫定事業に残る方の就労場所の確保、残事業の取扱いをどのように行うのか。

答 就労者は、66人から4人となり、市内での事業継続が不可能なため、飯塚市、桂川町と協議し、就労箇所の確保を行いたい。また、残事業については、過疎債(借金を充当しながら継続していきたい)。

質 市営住宅の家賃滞納の解消はどのようするのか。

答 滞納額は昨年より増加しており、今回初めて滞納家賃の支払いなどに関する訴えの提起前和解を2件行なった。今後も滞納解消に向け、裁判など法的措置をもって臨みたい。



19年度予算の審査報告